

小平市教育委員会だより

第82号



平成20年(2008年) 12月3日発行

編集・発行 小平市教育委員会教育庶務課
〒187-8701 東京都小平市小川町2-1333 小平市役所5階 ☎042-346-9568
ホームページ http://www.kodaira.ed.jp

第56回全日本吹奏楽コンクール中学の部

小平三中・六中がそろって金賞

小平第三中学校吹奏楽部は、昨年に続き全国大会6回目の出場を果たし、トリノ五輪のフィギュアスケートで荒川静香選手が金メダル獲得の際に使用した曲「トゥーランドット」を演奏し、昨年に続く2年連続の金賞を受賞しました。

小平第六中学校吹奏楽部は、13年ぶり4回目の全国大会出場で、ピーター・グレイラム作曲「ハリソンの夢」を演奏し、金賞を受賞しました。小平第六中学校吹奏楽部は、第14回日本管楽合奏コンテストでも最優秀賞を受賞しました。



小平第三中学校吹奏楽部顧問 高橋 東子
小平三中吹奏楽部は、東京都の代表として全日本吹奏楽コンクールに出場し、金賞を受賞することができました。全日本での金賞受賞は2年連続となります。
今年も、例年以上に苦しい中で、発表になりました。主顧問の齋藤先生が体調を崩し、部員の約半数が1年生という状況で様々な壁にぶつかりながら、外部指導員で指揮をされていた中村先生と必死につくりあげた「トゥーランドット」は、納得のいく三中サウンドに仕上がりました。ひとつの目標に向かって仲間とともに努力した経験、そしてそれが実を結んだことは、部員たちにとって大きな喜びや自信になったと共に、小平三中にとっても誇りになったと思います。
地域の皆様や保護者の皆様をはじめ多くの方のご支援のおかげでこのような最高の舞台に立つことができました。心よりお礼申し上げます。



小平第六中学校吹奏楽部 (撮影：株式会社フォトサービス)

小平第六中学校吹奏楽部顧問 澤 矢 康 宏
「全日本に出場したい。」という生徒の一人、一人の強い気持ちから予選・東京都大会の演奏に表れ、念願の全国大会に出場することが出来ました。そして、東京代表としての責任とプレッシャーに耐えて金賞を受賞できたことは、生徒にとって一生の宝物になったと思います。
音楽を通して苦しみ乗り越え、喜びを共にし、部員の心が一丸となり、夢をかなえることができた演奏後の生徒の顔はすがすがしく輝いていました。
地域の皆様、保護者の皆様をはじめ、共に出演した小平三中吹奏楽部の皆さん等、多くの皆様の支援のおかげで全国大会のステージに立つことができました。心よりお礼申し上げます。

「平成20年度全国学力・学習状況調査」の結果から(その2)

今月号では、「全国学力・学習状況調査」の結果について、「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」で明らかになった児童・生徒の学習意欲、学習方法、学習環境や生活の諸側面等に関する調査結果の概要を、調査結果の考察と今後の対応とともにお知らせいたします。

I 調査結果の概要(生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査)

表1 質問事項に対する回答率(主なものを抜粋 単位:%)

| 質問事項 | 小学校第6学年 | | | 中学校第3学年 | | |
|-------------------------|---------|---------------|------|---------|---------------|------|
| | あてはまる | どちらかといえばあてはまる | 合計 | あてはまる | どちらかといえばあてはまる | 合計 |
| 朝食を毎日食べていますか | 89.8 | 6.4 | 96.2 | 85.9 | 8.7 | 94.6 |
| 家で学校の宿題をしていますか | 80.8 | 12.9 | 93.7 | 55.0 | 28.9 | 83.9 |
| 学校のきまり(規則)を守っていますか | 25.9 | 57.7 | 83.6 | 44.0 | 42.3 | 86.3 |
| 新聞やテレビのニュースなどに 관심이ありますか | 33.6 | 38.2 | 71.8 | 24.6 | 43.3 | 67.9 |
| 自分には、よいところがあると思いますか | 31.4 | 43.0 | 74.4 | 20.3 | 39.0 | 59.3 |
| 将来の夢や目標をもっていますか | 67.0 | 17.2 | 84.2 | 45.7 | 26.6 | 72.3 |
| 携帯電話で通話やメールをしていますか | 14.4 | 16.9 | 31.3 | 45.1 | 21.9 | 67.0 |

表2 選択肢(あてはまる⇔あてはまらない)による平均正答率の差(主なものを抜粋 単位:ポイント)

| 質問事項 | 小学校第6学年 | 中学校第3学年 |
|--------------------|---------|---------|
| 朝食を毎日食べていますか | 25.0 | 22.5 |
| 家で学校の宿題をしていますか | 33.0 | 18.4 |
| 友達との約束を守っていますか | 32.5 | 23.4 |
| 学校のきまり(規則)を守っていますか | 22.9 | 28.4 |

II 調査結果の考察

- 「朝食を毎日食べていますか」という質問には、ほとんどの児童・生徒が「あてはまる」と回答しています。(表1)「あてはまる」と回答した児童・生徒と「あてはまらない」と回答した児童・生徒の教科に関する調査の平均正答率の差は20ポイント以上でした。(表2)
毎朝、決まった時間に起き、余裕をもって朝食を食べることは生活のリズムを整えることになり、そのことは学力向上にも大きくかかわっていることが分かります。
- 「学校のきまり(規則)を守っていますか」の質問からも、「あてはまる」と回答した児童・生徒は、「あてはまらない」と回答した児童・生徒よりも教科に関する調査の平均正答率が高いことが分かります。特に、中学校では28.4ポイントも差がありました。(表2)
規則があることの意義を理解し、規則を守って学校生活を送ることは、学力を向上させるためにも大切であることが分かります。
- 「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に対する回答結果からは、小学校で約25%、中学校では約40%の児童・生徒が否定的にとらえていることが分かります。
このことから、学校では様々な教育活動をとらえて自尊心や自己肯定感を高く育てていくことが課題となります。

III 今後の対応

各小・中学校において「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」の結果をより詳しく分析することにより、各学校の指導上の課題を明らかにした上で、生活や学習についての指導の改善を図ってまいります。教育委員会においても、児童・生徒の学力向上に向けた学校の取組を支援してまいります。(指導課)

楽しい冬休みのために

- まもなくやってくる冬休みを間近に控え、2学期もあとわずかとなりました。冬休みは夏休みに比べて短い休みとなります。以下に挙げる内容を参考に、お子さまの年齢や実態に合わせて、ご家庭でも冬休みの生活について話し合ってください。
- 1 安全・安心のために
 - 冬は日が落ちて暗くなるのも早くなります。実際の帰宅時間は、各家庭でお子さまとよく話し合ってください。指導員さんもお願ひいたします。また、地域においては子供たちを見守ってくださるようお願いいたします。
 - 年末・年始は、お年玉など、子供にとってはいつもと違い高額なお金を手にすることもありますが、不必要な金額のお金を持っているため、落としたり犯罪に巻き込まれたりすることも考えられますので、併せてご指導をお願いいたします。
 - 交通事故の防止について、次のような具体的な話をしてください。
 - ・ 自転車は飛び出しによる事故が多いこと
 - ・ 一人乗り、無灯火、整備不良の自転車の運転、道路を広く走ることなどは、非常に危険であり、ルールやマナー違反であること等。
 - 2 「健康・充実」のために
 - 冬休みは短い休みではありますが、年末・年始にかけて夜更かしが多くなる傾向があり、生活のリズムを保つことが難しくなります。また、気温も低く乾燥するなど、風邪を引きやすくなります。規則正しい生活リズムはもちろん、栄養のバランスが取れた食事をしっかりとることが大切です。
 - 冬休みは、日本の伝統・文化にふれるよい機会となります。また、家事の手伝いやあいさつなどの体験から身に付くものも多くあります。これらのことを基にして、親子でじっくりと話す時間を作ることができれば、冬休みがさらに充実したものとなります。
 - 子供たちが地域で過ごす時間が多くなり、地域の皆様には、子供たちの健全育成に向け一層のご指導、お声かけをよろしくお願い申し上げます。(指導課)

友・遊まつり
楽しいゲームが
みんなを待っています。
とき 12月20日(土)
午前10時～午後2時
ところ 中央公民館
内容 ねんどのプレートをつくらう、おはしで豆拾い、ジャンピングフラワー、ポップコーンほか
対象 小・中学生
費用 無料
申込み 当日、会場へ
問合せ 中央公民館
電話 042(341)0861

市民講座(家庭教育)
理解しよう、地域も親も
発達障害の子どもたちを
とき 平成21年1月14日(水)、21日(水)、29日(木)、2月4日(水)、12日(木)、18日(水)、26日(木)、3月4日(水)、18日(水)(全10回) 午前10時～正午
ところ 鈴木公民館
費用 学級費300円
対象 市民
定員 30人
保育 10名(6か月児から学齢前まで。保育オリエンテーション1月9日(金)の午前10時～)。ただし、3人以上で開設します。
内容 発達障害のある子どもたち(知的障害・自閉症・アスペルガー症候群・LD)について学習し、地域も親も理解を深めます。
講師 堀江 まゆみさん(白梅学園短期大学教授)
申込み 12月20日、12月24日～27日、1月6日～7日の間の午前9時～午後5時までに鈴木公民館へ(電話・FAX可)
申込み多数の場合は抽選し1月8日(木)までに当選者のみに連絡
問合せ 鈴木公民館
電話・FAX 042(388)0050

学校自慢 小平第三小学校

子どもの確かな学びを地域とともに創造する学校づくり

■学習指導として

『命の授業』3年生 助産師さん、妊婦さん、0歳の赤ちゃんとお母さんをお招きし、生まれたばかりの赤ちゃんやお腹の中の赤ちゃん、自分や大人の心音を聴き比べ、その違いに驚きました。神秘的な命のつながりについて感じる事ができました。

『薬の正しい使い方』4年生 学校薬剤師さんをお招きしてカプセルの吸着実験、錠剤の溶け方実験などしながら学習しました。薬の正しい飲み方とその理由、注意点などがよく分かりました。

『薬物乱用防止』5年生 保健所の方をお招きして 薬物の有害性、使い続けた場合の害、薬物乱用から自分を守る方法などについて学習しました。依存性の高い薬物には手を出さないことが何より重要であることがよく分かりました。

『薬物乱用の害』6年生 文化女子大の先生と学生の方々をお招きして薬物への誘いに、どのように対処したらよいかを知り、ロールプレイ（役割演技）で実際に断る体験をしました。毅然とした態度で断る必要性を学びました。

■学校支援ボランティアコーディネーターの活躍

『命の授業』（3年生）の他、『人との関わり、共生していくことの大切さ』（5年生）でお世話になる高齢者施設や保育園とつなげていただきました。また、図書ボランティアの『読み聞かせ講座』、花いっぱいボランティアの『学校花壇の作り方』の講師との交渉も。コーディネーターの方が、地域の教育力を学校につなげてくださっているお陰で、専門家の方々の強い想いと高度な知識を分かりやすく伝える授業や事業を進めることができました。

■新しい活動として

【さんさん広場】ボランティアの方々が発承遊びを子どもに伝えてくださっています。中休み（月1回）、土曜版（3ヶ月に1回）の他に、今年から水曜版（年20回）が始まり、将棋や生け花の教室も開催されています。

【花いっぱいボランティア】今年から組織されました。花壇に花を植えてくださったり、専門家による講習会を開いたりして、学校をお花でいっぱいにしてくださっています。

■学校経営として

コミュニティ・スクールをめざして平成20年4月より「コミュニティ・スクール推進委員会」を立ち上げ、三小ならでのあり方を検討しています。



赤ちゃんをだっこして



薬剤師さんのお話

ひらくしでんちゅう
小平市平櫛田中彫刻美術館

企画展「平櫛田中の書簡Ⅱ」

好評だった企画のシリーズ第2弾。平櫛田中が教え子たちに宛てた、さまざまな書簡を展示いたします。

- とき 平成20年11月28日（金）～平成21年5月10日（日）
- 休館日 毎週火曜日（祝日のときは、その翌日）
年末年始（12月27日～1月6日）
- 開館時間 午前10時～午後4時
- 観覧料 一般…300円（220円）
小・中学生…150円（110円）
※（ ）内は団体20人以上です。
- 交通 西武多摩湖線一橋学園駅から徒歩10分
- 問合せ 平櫛田中彫刻美術館 電話042（341）0098
生涯学習推進課 電話042（346）9574



※期間中の平成21年2月4日（水）～3月23日（月）には、記念館に田中制作の「おひな様」（内裏びな）も展示します。

平成20年度移動教室を終えて

小学校移動教室運営委員会
委員長・富 泉

平成20年度は、5月21日（水）の小平第五小学校をスタートに9月10日（水）の鈴木小学校まで、市内19校の小学校6年生を対象とした移動教室を行い、無事終えることができました。

きつと、どの学校の子供たちもすばらしい体験と思いがたくさんできたのではないかと思います。

移動教室の実施に当たっては、各学校の運営委員の方々の様々なご苦労と、現地のご協力なしには成り立ちません。

さらに、子供たちの健康管理に従事していただいた看護師さん等々、様々な方々の尽力が必要不可欠であることを知っていたら、関係する方々の「子供たちのために」という言葉では表せない熱意と想いがあります。

さて、移動教室の意義は、学舎を小平の小学校から豊かな大自然の環境にある八ヶ岳に移して、子供たちが寝食を共にして、集団生活の経験を行うことにあります。

（移動教室のねらい）
○学校では味わえない八ヶ岳周辺の大自然にふれることを通して、体験的な学習を充実させること。
○山荘の宿泊生活では、教師と子供、子供同士のふれ合いを深めさせること。
○基本的な生活習慣やマナーなどを学び合うことで、互いに思いやり、協力しながら集団生活をしようとする態度を身に付けること。

このようなねらいを達成させるために、各小学校ではしっかりと計画を立て、特色ある活動を行いました。

充実した2泊3日の生活を通して、子供たちは大きく成長しました。

いま、運営委員会では、今年度の移動教室の反省を活かして、来年度に向けての移動教室の計画を立てるところです。お世話いただきました関係機関の皆様方には心より御礼申し上げます。

移動教室最高の思い出

小平第五小学校 吉田 愛子

5月21日から23日は移動教室でした。バスの中では、これからの予定について話をして盛り上がりつつある人達や、さつそく「気持ち悪い」と言っている人など様々でした。バスはあつという間に「飯盛山」に到着しました。登山中に石でつまづいたりくじけたりしていた時には、友達のかげ声で立ち直り、頂上に行くまでとつても大変でした。やつと頂上に着いた時には、歓声があがりました。

宿舎に到着し、夕方になったのでキャンプファイヤーをしました。最後に『ナキムシの歌』を歌いました。最後に『ナキムシの歌』を歌いました。最後に『ナキムシの歌』を送る会で歌った歌です。この歌を歌っている時、私達はみんな肩を組んで一つになって歌いました。練習の時には、手をつなぐのでさえないやがっていた私達が一つになって歌ったのです。私は、この瞬間が移動教室最高の思い出となりました。6年生全員がそう思ってくれているとうれしいです。



「思い出のキャンプファイヤー」 小平第五小学校

自然体験プログラムで

小平第九小学校 濱田 真梨

森に入るとレンジャーののりさんが「この木に傷をつけた動物は何でしょう。」と言いました。シカだと思ったらそうでした。「どのようにして傷をつけたのでしょうか。」私は、角を木になすりつけているのかなと想像しました。



「森の自然を大切に」 小平第九小学校

のりさんが葉っぱをちぎっていきなり食べてしまいました。おいしいよとすすめられて私も一ちぎりして食べてみました。「これっておいしいの。味がしない、ん。すっぱい。何だろう。もしかしたら、ブドウの皮の味ではないだろうか。」と思ったら、山ぶどうでした。

これらの他にも、ヤマネについてやモグラの通り道など森の自然について私は学びました。最後にのりさんが、「森という字には動物がたくさんいる気がします。みなさん、森の自然を大切にしてください。」といいました。私も共感しました。

12月の教育委員会定例会

日時 12月18日（木）午後2時00分
場所 市役所5階 505会議室
どなたでも傍聴することができます（傍聴席は20席・先着順）。
また、会議録は市役所1階市政資料コーナーや小平市教育委員会のホームページからもご覧いただけます。

最高の三日間

小平第十二小学校 森反 翠

移動教室では、普段はできないような貴重な体験、例えばキャンプファイヤーや農林体験、ほうとう打ち体験、火おこし体験などができてよかったです。特に思い出に残ったのは、ハイキングラリーです。

私はハイキングラリー係だったので、担当のチェックポイントが終わってからは、他のメンバーと一緒にラリーを楽しみました。私は歩くのがあまり得意ではありませんでした。けれど班のメンバーにはげまされて、ゴールまでがんばることができました。ゴールに着いた時の飯盛山からの絶景は、きつと忘れません。

私は、「協力、学び合い、思いやり。六年生としての自覚をもち、楽しい思い出を。」という移動教室のめあてを達成できたと思います。活動班の人や生活班のメンバー、きもだめしで一緒になった人、学年のひとの友情が深まったような気がしません。

そして何よりも、私はこの三日間を通して、『感謝』の気持ちをもつことがたくさんありました。いろいろな場面で助けられ、また支えられました。いままでも当然のことのように感じていたことを大切に思うことができました。

この3日間は、私にとって最高の思い出になりました。



「飯盛山の山頂でリコーダー演奏会」 小平第十二小学校